

## 会 議 録

会議名	平成30年度 第3回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成30年9月28日(金) 15:45~17:00
開催場所	丸亀市役所 本館2階第3会議室
出席者	<p><u>出席委員</u> 岩永十紀子、鹿子嶋仁、佐藤友光子、森茂、桑田桃子、佐藤常光、宮武稔</p> <p><u>欠席委員</u> なし</p> <p><u>事務局</u> 市長公室長 山田理恵子 (市長公室秘書政策課) 副課長 窪田徹也、担当長 野本政宏、主査 宇野大志郎</p>
議 題	<p>1. 事業評価について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田副課長	<p>ただ今より、第3回目の丸亀市行政評価委員会を開会いたします。議事に入ります前に、本日の会議資料を確認します。</p> <p>以後の議事につきましては、会長に議長をお願いします。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、ヒアリングに入ります前に、現在7名の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき会議が有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>議事の1 事業評価につきまして、手順等について事務局より説明をお願いします。</p>
秘書政策課 宇野	<資料に基づき説明>
鹿子嶋会長	<p>それでは、事業①「多様な情報発信の充実」から行います。所管課ヒアリングのやり取りのなかで争点になった事柄が委員のコメント欄には網羅されているように思います。</p>
宮武委員	<p>自治会加入率の低下を例にとっても、自治会加入のメリット、デメリットなど、市役所からの情報が届いていないという現状があると思います。</p>
窪田副課長	<p>自治会加入率は市においても課題として認識しており、今年度から市民活動推進課では自治会加入推進員を配置し、加入促進の取組を進めています。</p>
鹿子嶋会長	<p>従来自治会を通じて流れていた情報は、加入率の低下が影響しますし、加入促進に向けて有効な情報発信がなされているのかといった点からも関連があらうかと</p>

	<p>思います。</p>
佐藤（常）委員	<p>ホームページの項目ごとのアクセス状況は把握していますか。また、広報紙はページ数が多いので読まないといったお年寄りの声も聞きます。</p>
窪田副課長	<p>ホームページは項目ごとにアクセス件数を確認できるようになっています。</p>
宮武委員	<p>広報紙を若年層と高齢者向けに、分けて発行しているような例はありますか。</p>
岩永委員	<p>ページ数を減らして、月に2回に分けて発行している自治体はあります。</p>
窪田副課長	<p>市側からすると、伝えたい情報は多くある一方で、紙面の量としてのバランスも考えながら作成しています。</p>
鹿子嶋会長	<p>一般的なアンケート結果では、紙媒体から情報を得る割合は今でも高くなっており、あながち、紙媒体が時代遅れというわけでもないようです。</p>
岩永委員	<p>広報紙は見ている人と見ていない人が分かれているのだと思います。 ホームページは自分が目的とする情報しか見にいきませんが、広報紙は色んな情報が目に入ってきます。</p>
佐藤（友）委員	<p>採決の前に確認ですが、拡充と改善の違いがあいまいで、改善しつつ拡充して欲しいといったケースもあると思います。</p>
秘書政策課 宇野	<p>拡充と改善を判断する一つの視点として、行政コストの面で拡大するのが拡充、維持または縮小するのが改善と捉えていただければと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、他に意見もないようですので、採決に入ります。  &lt;必要性:妥当6・改善1、効率性:妥当7・改善0、有効性:妥当1・改善6&gt;  &lt;事業の方向性:改善7&gt;  本事業については、「改善」という結果になりました。  次に、事業②「食育による健康増進の実現」にまいります。</p> <p>効果、効率性の点で改善が必要な印象は受けました。委員のコメント欄にも、改善点についての意見が多く出ているようです。それでは、他に意見もないようですので、採決に入ります。  &lt;必要性:妥当7・改善0、効率性:妥当1・改善6、有効性:妥当0・改善7&gt;  &lt;事業の方向性:改善7&gt;  本事業については、「改善」という結果になりました。  次に、事業③「DV及び児童虐待防止の推進」にまいります。</p>

佐藤（常）委員	この項目に関しては、コストや利用者負担の適正化などは考えられにくいです。
鹿子嶋会長	確かに人の生命に関わるような内容なので、コストに関する評価はなじまない面はあります。
宮武委員	剣道を指導していた経験がありますが、保護者がもっと厳しくして欲しいというケースもあり、家庭によって虐待についての認識に差があるのも現状だと思います。
佐藤（常）委員	根性主義の昔と違って、今はそれがパワハラと捉えられます。
鹿子嶋会長	世間を賑わせている問題ですね。この項目に関しては、認知件数も増えており、内部評価でも専門性の高い人材を増やしたいとの意見がありました。全国的に見ても取組の強化が必要とされている課題だと思います。
岩永委員	相談室の体制強化が課題であるといった意見を見ても、コストを拡大する必要がありますし、現在の取組状況も改善しなければなりません。
佐藤（常）委員	担当課職員のスキルアップ一つをとっても、研修費など必要になります。
森副会長	最終的に事業の方向性を決めるとのことですが、それは今後の話となりますので、昨年度1年間の評価とは違ったものとなります。
鹿子嶋会長	必要性・効率性・有効性の視点からの判定が言わば評価で、それを踏まえて事業の方向性を決めるというのがこの委員会の役割かと思います。
桑田委員	必要性・効率性・有効性の「改善あり」については、事業の縮小やコストを減らす場合も含むという解釈でよろしいですか。
窪田副課長	それがかまいません。拡充と改善の判断についての補足ですが、拡充には改善も含んだものであると認識していただければと思います。行政評価委員会として事業の方向性を判定していただき、その結果やご意見を予算編成に繋げていきたいと考えています。
鹿子嶋会長	それでは、他に意見もないようですので、採決に入ります。評価の判定が難しい場合は、必ずしも挙手の必要はないとのことですので、よろしくお願ひします。 <必要性:妥当6・改善1、効率性:妥当0・改善5、有効性:妥当0・改善7> <事業の方向性：拡充6・維持1> 本事業については、「拡充」という結果になりました。 次に、事業④「高齢者交通安全対策の推進」にまいります。

<p>秘書政策課 宇野</p> <p>鹿子嶋会長</p>	<p>皆様のご意見を見返してみているでしょうか。それでは、特に意見もないよう      ですので、採決に移ります。</p> <p>&lt;必要性:妥当7・改善0、効率性:妥当3・改善4、有効性:妥当0・改善7&gt;      &lt;事業の方向性:維持2・改善5&gt;</p> <p>本事業については、「改善」という結果になりました。      次に、事業⑤「インターンシップの充実」にまいります。</p> <p>就職者数など事業の結果に関するデータがないので評価しづらい面があります。      本事業がUターンやIターンに繋がっていないとすれば効果がないということに      もなります。それでは、特に意見もないようですので、採決に移ります。</p> <p>&lt;必要性:妥当6・改善1、効率性:妥当0・改善7、有効性:妥当0・改善7&gt;      &lt;事業の方向性:改善6・縮小1&gt;</p> <p>本事業については、「改善」という結果になりました。</p> <p>以上で全ての事業について、評価が終わりました。それでは、議事の2「その他」      について事務局より説明をお願いします。</p> <p>《今後の作業、スケジュールについて説明》</p> <p>それでは、本日の会議を終了します。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>
------------------------------	--